

名ヶ原（みょうがはら）

名ヶ原（みょうがはら）の化石層

名ヶ原の集落の外れに、旧庄川町の特別天然記念物に指定されていた化石包含層がありました。この層は、鎧壁の最上部にあった伏木谷泥岩層に属しています。泥質であることから内湾の陸から離れた場所で堆積したことが想像されます。伏木谷泥岩層は風化を受けやすく、露頭の表面には細かなひび割れが見られます。残念なことに、隠尾（かくりょう）へ向かう県道346号線の拡幅工事によって化石包含層の土砂が撤去され、現在では殆ど化石はありません。下の写真にある看板の付近の転石か、谷内川の中の泥岩の中に化石を見つけることができます。



集落外れの化石包含層跡



谷内川



谷内川の転石内にある化石



サルボウの仲間



ツキガイモドキ